



平成28年5月13日

各位

会社名 児玉化学工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 豊島 哲郎
(コード: 4222、東証第2部)
問合せ先 取締役管理本部長 斉木 均
(TEL. 03-3279-4900)

平成28年3月期通期業績予想数値と実績値との差異及び特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、平成28年2月12日に公表いたしました平成28年3月期の通期業績予想数値と実績値に差異及び特別損失の計上について、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 業績予想数値との差異について

平成28年3月期通期連結業績予想数値と実績値との差異(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 23,000	百万円 100	百万円 △300	百万円 △350	円銭 △11.83
今回実績値(B)	22,383	△12	△511	△710	△24.11
増減額(B-A)	△616	△112	△211	△360	—
増減率(%)	△2.7	—	—	—	—
(ご参考)前期実績	23,697	△161	△390	△428	△14.34

平成28年3月期通期個別業績予想数値と実績値との差異(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 12,000	百万円 20	百万円 0	円銭 0.00
今回実績値(B)	11,791	△29	△1,041	△35.34
増減額(B-A)	△208	△49	△1,041	—
増減率(%)	△1.7	—	—	—
(ご参考)前期実績	11,845	△198	△218	△7.30

2. 差異の理由

個別業績予想につきましては、第3四半期までは、概ね堅調に推移しておりましたが、第4四半期に愛知製鋼の爆発事故の影響による大手自動車メーカーの操業停止により自動車部品事業の売上高並びに損益が大幅に悪化致しました。また、子会社株式の評価損失と災害保険調停和解金を特別損失に計上することにより、前回業績予想を大幅に下回る事態になりました。

連結業績予想につきましては、個別の業績予想が大幅に下回ることになったため、連結の業績もそれに合わせて前回予想を大幅に下回る事態になりました。

3. 特別損失の計上

子会社である PT. ECHO ADVANCED TECHNOLOGY INDONESIA と無錫普拉那塑膠有限公司において、当初の計画通りの収益が上がっていない事から期末に、保有株式の評価損失の計上を余儀なくされ、特別損失 886 百万円を計上致します。加えて、埼玉工場における大雪の影響による損害保険金についての裁判所による調停結果に基づき特別損失 97 百万円を計上致します。

以 上